

長岡市長記者会見要旨

日 時：令和5年7月21日（金）午前10時から

会 場：アオーレ長岡 東棟4階 大会議室

【会見項目1：8月1日は「長岡市恒久平和の日」 平和の尊さを次の世代へ伝える取り組みを実施】

（市長）

世界ではまだウクライナ戦争が終わっておらず、犠牲者がさらに増え続けている状況です。戦争からの復興や新型コロナウイルス禍からの復興が、今後の世界の大きなテーマになると考えています。そうした中で、長岡花火に込められた慰霊・復興・平和への祈り、市民の想いを多くの皆様に感じていただきたいと思います。長岡まつりは、それぞれの主催者に万全の感染対策をとっていただきながら、ウイルス禍前の通常の規模で開催します。

8月1日の平和の尊さを次世代に伝える取り組みについて発表します。長岡市は昭和20年のアメリカ軍の大空襲により、1,488人の市民が尊い命を失った県内唯一の大規模戦災都市です。長岡市恒久平和の日である8月1日に、戦災で亡くなった方々を追悼し、平和を願う行事を開催します。これにより、長岡空襲の記憶を次世代に伝えていきます。ウクライナ戦争が続いている中で、長岡から平和への祈りと、平和の尊さを訴えることは、極めて重要だと考えています。

一つ目は、長岡市平和祈念式典です。昭和60年にはじまった非核平和都市宣言市民の集いが発端となり、長岡市恒久平和の日条例が制定された平成27年からは平和祈念式典に名称を変えて今年で9回目となります。例年行っている、亡くなられた方々への追悼や献花、長岡空襲の体験談、非核平和都市宣言の朗読などに加え、今年は折り鶴の依託を行います。8月6日に広島市で行われる平和記念式典に参加する中学生に対して、市内の小学生が折った折り鶴を平和への想いとして広島へ届けてもらい、中学生の代表から平和の誓いを述べてもらいます。昨年は新型コロナウイルス禍で参加者を制限していましたが、今年は緩和して約600人が参加する予定です。

二つ目は、ながおか平和フォーラムです。ナガサキ・ユース代表団の大学生2人による平和に関する講演を行います。また、弦楽四重奏のアンサンブルオビリーによる慰霊と平和への祈りの演奏も行います。長岡市平和祈念式典、ながおか平和フォーラムともに、今年から長岡市の公式YouTubeチャンネルで生配信します。

三つ目は、鎮魂たむけの花です。長岡空襲で亡くなった方々を追悼する市民献花を行うものです。8月1日に長岡戦災資料館3階の学習室で開催します。会場内には殉難者の遺影なども展示します。

その他に7月31日の平和の森コンサートなど、長岡市主催以外にも多くの平和関連事業が行われます。

（記者）

ながおか平和フォーラムで今回初めて行う取り組みを教えてください。

（市長）

ながおか平和フォーラムは今年で16回目の開催になります。このうちナガサキ・ユース代表団の大学生2人が、原爆の実相を踏まえた平和に関する講演をするということが今年初めてのものです。

**【会見項目2：慰霊と復興、平和への願いを込めて
令和5年「長岡まつり」を開催します】**

(市長)

今年の長岡まつりについて発表します。まず平和祭や昼行事は、4年ぶりに本来の形で開催します。今年5月に、新型コロナウイルス感染症が感染症法上の5類に分類が引き下げられたことで、多くの皆様に来場いただける形で開催します。今年の長岡まつりを存分に楽しんでいただきたいと思います。

8月1日に開催する平和祭では、バルーンリリースや悠久太鼓のスペシャルライブ、消防音楽隊、バトントワリングによるパレード、大民踊流し、越後長岡慰霊神輿渡御を行います。大民踊流しと越後長岡慰霊神輿渡御は人数制限なしで行いますので、盛大な平和祭になると思っています。

8月2日の観光ふれあい広場では、花火以外の昼間でも楽しんでいただけるように、長岡を含めた中越地区の観光情報をPRしながら、長岡花火お土産物産館で特産品を販売します。

8月3日のわんぱくおまつり広場では、歩行者天国やステージイベントなど子ども達に楽しんでもらえる企画をたくさん用意しています。アオーレ長岡アリーナでの人気芸人によるお笑いライブやチアリーダーなど楽しんでいただきたいと思います。

そして、多くの皆様が注目する8月2日と3日の大花火大会については、長岡花火財団から説明します。

(長岡花火財団 高見理事長)

今年の大花火大会は、従来の形で開催します。3年ぶりの開催となった去年は、キャッチフレーズ「みんなで上げよう」のもと、皆様の力を借りて打ち上げることができました。今年は、「ツナグ、ミライへ」のキャッチフレーズで慰霊、復興、平和の想いを未来につなぎます。

長岡まつり大花火大会は、日本一マナーの良い花火大会を目指しており、今年もそのテーマを追求していきたいと思っています。

現在の天気予報では、2日、3日とも雨の心配はありませんが晴天が続くため、熱中症について十分に注意喚起します。昨年控えていたアルコール類を含んだ飲食ブースについても、今年は両日とも15店舗が出店予定です。

安全対策として、警察や警備会社、ボランティアスタッフなど2日間で延べ約4,400人で安全にお客様をお迎えします。

昨年同様、会場内はすべて有料席となっております。当日のチケット販売もありませんので、チケットがない人は来場を控えてくださるようお願いいたします。去年は会場内をすべて有料席にしたことで、混乱回避にとっても効果がありました。

今年もテレビやインターネットで花火大会を中継いただけます。会場に来られない人は、メディアを通じて観覧いただきたいと思います。

また、長岡花火応援企業の11社が、生活に困窮している方々に対して、観覧席チケットを寄贈するという新しい試みを始めました。

(記者)

新型コロナウイルス自体がなくなったわけではない中で、今年の感染対策を教えてください。

(長岡花火財団 高見理事長)

雑踏事故回避のための全席有料化や、人が集まりやすい場所を閉めるなどの対策が感染症対策にも共通しています。

(長岡花火財団 渡邊常務理事)

昨年と同じように手指消毒用のアルコールを設置します。マスクについては、熱中症も心配されますので、個人の判断で着用するよう呼び掛けます。

(記者)

観覧席チケットがインターネットなどで転売されているようですが、対策や呼び掛けなどがありましたら教えてください。

(長岡花火財団 渡邊常務理)

転売ができるだけ起きないようにチケットの発送を遅らせています。間近にならないとチケットが手元にないようにすることである程度防げると思っています。ただ、予約した段階で、転売するという事も見られており防止策の難しさを感じています。

(記者)

対策として花火財団による買い取りもありますか。

(長岡花火財団 渡邊常務理)

一般販売後に、ご都合が悪くなり行けなくなった場合などのため、長岡花火財団の公式ホームページでリセールをしています。約3,000件の利用があったと聞いています。

(記者)

熱中症対策として特別に休憩場を設けるなどの予定はありますか。

(観光事業課長)

昼行事についてはアオーレのアリーナを会場としていますので、そちらで涼をとっていただきたいと思います。また、熱中症予防の呼び掛けを積極的にしていきたいと思っています。

(長岡花火財団 高見理事長)

花火会場には、冷房のある医療用のコンテナを用意しますので、具合が悪くなった方はお申し出いただきたいと考えています。

(市長)

今回もすべての観覧席を有料にしたのは、雑踏事故対策、感染症対策、そして熱中症対策のためです。自由席を設けますと、暑い日中から並んで場所取りをするということがありましたが、席が決まっていますので、日も落ちかけて涼しくなり始める頃に会場に入っていくことができます。全席有料化は、熱中症対策としてもご理解いただきたいと思っております。お酒の飲みすぎも熱中症につながりますので、そこそこの飲食で、花火を楽しんでいただければと思います。

(記者)

4年ぶりに飲食の制限もない花火大会となりますが、どんなふう楽しんで欲しいか市長からお願いします。

(市長)

感染症のリスクが全くないということではありませんが、昨年よりものびのびと安心して、会場で花火を楽しんでいただける状況になったと思っています。長岡市民の想いがこもった花火を見て、元気を出していただければありがたいと思います。事故のないよう主催者も頑張ります。来場される方も十分にお気をつけていただきながら参加をお願いします。

(記者)

長岡まつり大花火大会の観覧席チケットの売れ行きについて教えてください。

(長岡花火財団 渡邊常務理事)

2日、3日合計で295,000人分の観覧席が販売済みとなっています。合計収容人数328,000人に対して約90%が販売済みとなっています。

(記者)

海外からのお客様への翻訳支援などは行いますか。

(長岡花火財団 渡邊常務理事)

アナウンスを担当している業者と、同時通訳で伝えられる方法を検討しています。

(記者)

今年のポスターに込めた思いを教えてください。

(長岡花火財団 渡邊常務理事)

今年は「ツナグ、ミライへ」ということで、慰霊・復興・平和への想いを伝えることと、長岡の明るい将来への願いを発信したいという思いが込められています。

(長岡花火財団 高見理事長)

ポスターに親子のように見えるシルエットが写っています。世代を超えて、未来へ繋いでいくという思いが込められたポスターだと思っています。

(記者)

「HOPE TO THE FUTURE」の曲は、昨年最後に打ち上がった花火と同じものでしょうか。

(長岡花火財団 渡邊常務理事)

曲は同じですが、今年は歌詞が入ります。歌い手は当日発表させていただきます。

(記者)

長岡まつりの平和祭、観光ふれあい広場、わんぱくおまつり広場の主催者の皆様から、見どころと意気込みを一言ずついただいてもよろしいでしょうか。

(長岡商工会議所 長谷川事務局長)

平和祭は、4年ぶりの通常開催です。大民踊流し、神輿渡御とも3,000人規模で行いますので、ぜひ皆様お楽しみいただければと思います。

(長岡観光コンベンション協会 佐藤常務)

観光ふれあい広場は、アオーレ長岡アリーナで、長岡市内や柏崎、小千谷、見附、出雲崎、刈羽、新潟県観光協会から出店いただき、地域の特産物の販売や、ゆるキャラのイベントなどを行います。花火大会以外でも中越地域を観光していただくことを目的に開催します。アリーナでは、飲食用のテーブルや椅子を用意しており、涼んでいただくこともできますので、ぜひ多くの方にお越しいただきたいと思っております。

(長岡市大手通商店街振興組合 安藤理事長)

わんぱくおまつり広場は、古くは街中が元気だった頃に、お客様に還元をしようと若手が集まって、雑誌の付録などを配ったことから始まりました。今年は小中高生に大変人気があるテツandトモを呼ぶほか、約40ブースの出店があります。ぜひ遊びに来ていただければと思います。

(記者)

市長に伺います。改めてウイルス禍前と同規模で行われる長岡まつりについて、思いをお聞かせください。

(市長)

新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類になり、いろいろなものが動く一つの象徴として、長岡まつりがリスタートするということを、本当に嬉しく思います。市民の皆様とともに喜び、楽しみながら、これからの明るい長岡を作っていく大きな力にしたいと思いますし、長岡まつりの来訪者の皆様にも、長岡が元気を出して頑張ろうとしている姿を見ていただきたい

いと思っております。

(記者)

会場内での飲食販売ブースについて、どのようなお店か教えてください。

(長岡花火財団 戸田事務局長)

長岡観光コンベンション協会の会員を中心に募り、多くは市内事業者が出店します。飲食が主で、お土産も若干売っています。

(記者)

全席有料席となっていますが、経済性を考慮すると、より多くの席を開放するため、無料席の開放も考えられます。来年以降の無料席・有料席の考え方について伺いたいと思います。

(市長)

事故が起こったら長岡まつり大花火大会の歴史が変わると考えていますので、事故防止を優先順位の一つに考えるべきだと思っております。昨年、今年と同じように全席有料化して実施しますが、検証を続けていきたいと思っております。

【その他の質問事項】

(記者)

ミライエ長岡東館の建築工事入札が2回不調となり市内業者に決まらなかったことと、3回目の入札に向けた気持ちをお聞かせください。

(市長)

長岡商工会議所からも市内業者でできないか要望をいただいておりますが、2回の入札が不調に終わり、誠に残念な結果だと考えています。内部での検討や業界の皆様からの情報によれば、難易度の高い工事だったことと、今の建設業界が持っている工事量からは、この工事に注ぐ余力がなかったという感想を持っております。いろいろな要素が重なった結果だと考えております。今後、入札に参加いただく業者の範囲を考え直して8月に再入札します。この仕事をやりたいという業者が現れることを願っております。

(記者)

今回の取材の中で、市内業者が求める価格との乖離や、工事期間の設定が厳しいのではないかとこの声も聞かれました。市の設定に課題はなかったのでしょうか。

(市長)

価格については、国土交通省などが用いるものを基本にしているため一般価格と離れたものではないと考えていますが、実際はどうかということを見たいと思います。また、市内業者に限ったことで、人手不足や繁忙状況、技術的な問題があったと思っておりますので、入札参加業者の範囲を広げて次の入札に臨みたいと思います。

(記者)

入札が2回不調となったことで工事期間に遅れがでると思いますが、令和7度オープンに影響はないのでしょうか。

(高見副市長)

2回の不調に伴った遅れの分については工期を延ばしておりますが、今のところ令和7年に収まる予定です。